

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券は期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっています。

2. 固定資産（その他固定資産）の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

| 科目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|-------|------------|-----------|------------|
| 什器備品 | 22,399,466 | 1,625,841 | 20,773,625 |
| 電話加入権 | 149,968 | 0 | 149,968 |
| 合計 | 22,549,434 | 1,625,841 | 20,923,593 |

3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

| 内容 | 金額 |
|--------------------------------------|------------|
| ・ [京都市公募公債平成 22 年度第 1 回] 償還に係る振替額 | 20,000,000 |
| ・ 投資有価証券運用益に係る振替額 | 1,022,141 |
| ・ 定期預金運用益に係る振替額 | 17,215 |
| 合計 | 21,039,356 |